

信州暮らし推進の基本方針

(2019.3.27策定) 田舎暮らし「楽園信州」推進協議会

事務局:長野県企画振興部 信州暮らし推進課
電話:026-235-7024(直通)

問題意識

《これまでの取組》

- **移住に力点を置いた施策を展開**
 - ・三大都市圏への相談窓口設置
 - ・市町村と連携したセミナー開催や情報発信
 - ・移住体験ツアーやお試し住宅
 - ・移住者に対するサポート
- **行政サポートによる移住者数**
2012年度 408人 → 2017年度 1,274人

《現状》

- **転出超過が止まらない**
 - ・県出身の大学進学者等は75.0%が県外へ(2018.3卒)
⇒Uターン就職率は39.5% (2018.3卒)
- **あらゆる産業で人材が不足**
 - ・県内の有効求人倍率1.68倍(2018.12) 全国16位
- **移住となるとハードルが高い**
- **過疎・高齢化による地域の担い手不足**
- **人生100年時代にふさわしい暮らし方への対応**
- **全国各地で移住推進の取組を強化**

信州暮らしの魅力、強み

- **お金に換えられない価値**
雄大な自然と多くの観光スポット、多様な文化や人とのつながり
通勤ストレスが少ない、ゆとりのある暮らし
- **三大都市圏からのアクセスの良さ**
心理的にも距離的にも近い大都市圏、比較的安価な移動コスト
- **全国トップレベルの健康長寿**
- **発酵食品等の優れた食文化**
- **信州やまほいく、山村留学等の特徴的な教育環境が充実**
- **多様なライフスタイルの受入れ土壌**
一人多役、半農半X等、新たなライフスタイルの実現の可能性
- **移住希望先として不動の人気を誇る**
移住したい都道府県ランキング13年連続第1位 など

県、市町村及び民間事業者等が目標を共有し、“オール信州”の取組を進めるため、方針を策定

方針のコンセプト

方針／推進プロジェクト

重点Ⅰ 働く場としての“信州”の展開 “仕事と暮らし”をセットで呼び込み

◎信州暮らしの魅力
を情報発信し、
移住希望者を支援

◎特に右に掲げる
「人材や企業」を積
極的に呼び込む

新しい働き方をする人材・企業
人材・リモートワーカー、パラレルワーカー など
企業・リモートワークやデュアルワークの推進に取り組む企業
(本社機能、サテライトオフィス)

人を呼び込む
「核・ハブ」人材
起業人材
クリエイティブ人材

県内産業や生活
を支える人材
企業人材、医師、介護
人材、保育士 など

重点Ⅱ 「つながり人口」にフォーカス

必ずしも移住・定住をゴールとしない、二地域居住者や
地域の人々と多様に関わる人を増やす

- ◎信州に想いを寄せていただいている県外の方々とのつながり強化
▶ つながり人口事業 × 信州の強み、課題 ⇒ つながり拡大へ
- ◎大都市圏等の地域外人材と、地域の方々とのつながりをデザイン
して、地域の活性化を図る
▶ 地域外人材とともに創る、地域の課題解決に向けた実践

I 多様な住まい方の支援

- 移住希望者向け空き家の利活用の推進
 - ・空き家物件の掘り起こし調査等の利用可能物件の確保
 - ・数年の信州暮らしに適した集合住宅等の活用の促進
- シェアハウスやゲストハウス等の新たな住まい方の
仕組みづくり

II 地域への定着・交流支援

- 人と人との絆を育む地域のサポート体制づくり
 - ・地域と移住者をつなぐ定住アドバイザー(仮称)の設置
 - ・地域住民と移住者とが共に地域について学ぶ場の提供

III 魅力、強みを活かした情報発信の強化

- ターゲットやニーズに応じた「信州らしい暮らし方」の
情報発信や体験の場の提供
 - ・子育て環境(信州やまほいく)、女性の働き(起業)、婚活等
をテーマにした情報発信や体験の場の提供

IV 民間事業者等との連携・協働

- 外部人材の活用や民間事業者等の強みを活かした
取組の推進
 - ・事業のブラッシュアップを図るアドバイザー体制の構築

信州から新たな価値を創造

信州らしい働き方、暮らし方の提案
→ 新しいライフスタイルを創る

「移住したい県」NO.1から
「暮らしてよかった県」NO.1へ

推進体制

田舎暮らし「楽園信州」推進協議会

県、市町村、民間事業者等で構成する協議会による
“オール信州”での『3本の矢体制』

《期待される主な役割》

【県】

- ・信州が選ばれるための企画・総合窓口・情報発信
- ・国や市町村との総合調整や新たな課題への挑戦
- ・新しいライフスタイルを創る人材、企業の誘致
- ・企業等の人材不足解消のための取組

【市町村】

- ・仕事、住まい、暮らしに関するきめ細やかな相談
対応、支援

- ・地域の個性を発揮した取組

【民間事業者等】

- ・企業サービスの提供を通じた生活支援

重点プロジェクトⅠ

働く場としての“信州”の展開

- ◆ターゲット層をはっきり意識したUIJターンの取組
- ◆心を惹きつける暮らしの情報や体験機会の提供



- ◆ 就業支援 × 信州暮らしの魅力、強みの打ち出し
 - ・お金に換えられない価値、豊かな自然環境、三大都市圏からのアクセスの良さ など
 - ・移住者へのフォロー

- ・プロジェクトチームを柔軟に設置
- ・県、市町村の内部連携と関係団体との連携強化
- ・移住者、交流者起点の取組

- 信州で働きたい、暮らしたいと希望するすべての移住希望者等を支援し、地域の特徴を活かした持続的な地域づくりを進める
- 次に掲げる人材・企業にフォーカスした相談の機会等を通じて呼び込みを展開し、新たな時代に即した「信州らしい働き方、暮らし方」を提案

呼び込みに力点を置く人材・企業／取組

【新しい働き方をする人材・企業】

人材／リモートワーカー、パラレルワーカー など
企業／リモートワークやデュアルワークの推進に取り組む企業

- ・リモートワーク、パラレルワーク等の働き方
- ・リゾートテレワーク
- ・新しい働き方に取り組む企業の呼び込み

【人を呼び込む「核・ハブ」人材】

起業人材、クリエイティブ人材

- ・起業・創業、一人多役の提案
- ・都会の副・複業人材と県内企業や地域との交流、マッチング

【県内産業や生活を支える人材】

企業人材、医師、介護人材、保育士、農林業の新規就業者など

- ・大学や資格職種養成学校等へのPR
- ・子育て時期の数年の働き方の提案
- ・就農、就林 × 人材育成



信州暮らし

*自然の恵みや農ある暮らし、信州やまほいく、山村留学などの付加価値

重点プロジェクトⅡ

「つながり人口」にフォーカス

- ◆信州に想いを寄せていただいている県外の方々とのつながりを強化

- ◆大都市圏等の地域外人材と、地域の方々とのつながりをデザインし地域の活性化を図る

取組

○県、市町村の施策や地域事情にふさわしい「つながり人口」の検証・創出、「つながり人口」の活用を意識した取り組みの推進

・つながり人口事業 × 信州の強み・課題 = つながり拡大へ

(例:テレワーク推進、インターンシップ、スポーツ等の合宿、大学生による地域づくり、アーティスト・イン・レジデンス、棚田保全、ボランティア活動など)

○県内でコミュニケーションの場をつくる者が企画・運営する県外イベントの開催や、県外企業と地域活動をマッチングする仕組みづくりの推進

○「つながり人口」効果の啓発等の研修会の開催

プロジェクトⅠ 多様な住まい方の支援

- ◆移住希望者のニーズにあった住まいの情報を提供する体制を強化
- ◆多拠点生活等、時代の変化に応じた新たな住まい方に応じられる仕組みを検討

取組

- 移住希望者向け空き家利活用の推進
 - ・空き家物件の掘り起こし調査等の利用可能物件の確保
 - ・空き家活用のモデルとなる取組を研究、情報発信
 - ・アパートや集合住宅の活用を促進し、数年の信州暮らしに適した住まいの提供
- 農地・林地付き住宅やクラインガルテンの有効活用
- シェアハウス、ゲストハウス等新たな住まい方の仕組みづくり

プロジェクトⅡ 地域への定着・交流支援

- ◆「暮らしてよかった県」を実感していただける、人と人との絆を育む地域のサポート体制の充実

取組

- 地域と移住者をつなぐ定住アドバイザー（仮称）の設置、育成
 - ・暮らしのきめ細やかなアドバイスや地域とのつなぎ役の設置
- 移住者交流会の拡大や地域のネットワーク構築
 - ・二地域居住者、先輩移住者等の仲間がいる安心感を提供するための機会の提供
- 移住者等を受け入れようという住民意識の醸成の支援
 - ・移住モデル地区等の先進的な取組の浸透を図るための情報発信
 - ・地域住民と移住者とが共に地域の未来について学ぶ機会の提供

（用語解説）

- 一人多役
仕事と地域活動や好きなこと・やりたいことを組み合わせた働き方、暮らし方
- リモートワーク
情報通信技術の活用により、会社以外の場所で働くこと
- パラレルワーク
本業以外の副業や複数の仕事を並行する複業により、キャリアを複線化させる働き方
- デュアルワーク
二つの地域や二つの企業、二つの職種で仕事をする
- テレワーク
情報通信技術の活用により、場所や時間にとらわれずに働くこと

プロジェクトⅢ 魅力、強みを活かした情報発信の強化

- ◆ターゲットやニーズに応じた「信州らしい暮らし方」の情報発信や体験の場の提供

取組

- 年代や興味関心（趣味・嗜好・志向）に基づく情報発信や体験の場の提供
 - ・子育て環境（信州やまほいく）、女性の働き（起業）、婚活等をテーマにした情報発信や暮らしを体験するツアー等の実施
- 信州ならではの暮らし方をモデル化した情報発信
- 県内広域圏での相談対応のあり方検討や情報発信の強化
- 県、市町村等の移住担当者のレベルアップ及び連携の強化

プロジェクトⅣ 民間事業者等との連携・協働

- ◆外部人材の活用や民間事業者等の強みを活かした取組の推進

取組

- 事業のブラッシュアップを図る外部アドバイザー体制の構築
 - ・外部視点による新しい価値観や手法を取り入れ、新たな時代にチャレンジ
- 楽園信州移住応援企業の登録拡充
 - ・移住希望者等が登録する、楽園信州ファミリー会員増加のための提供サービス等の充実
- 住宅等の取引を行う団体との連携の強化
 - ・楽園信州空き家バンクへの物件登録の推進

- クリエイティブ人材
商品開発や経営企画、ICT、芸術活動等を通じて新しいものや仕組みを創造できる人材
- つながり人口
二地域居住をはじめ移住・定住しなくても、地域や地域の人々と多様に関わる者（「関係人口」とも言う。）
- アーティスト・イン・レジデンス
国内外の芸術家等が一定期間、地域に滞在し、地域との交流を通して創作活動等を行う取組
- クラインガルテン
遊休農地などを利用して、都市住民などに野菜や花づくりの場を提供する簡易宿泊施設のある滞在型市民農園